

## 平成 28 年度第 3 回（通算第 8 1 回）

# 山口国際文化化学研究会へのおさそい

教員世話人 川口喜治

院生世話人 岡村理恵 小川大貴 陳 鶴丹

荒木麻耶 ビジネス・ILU・ITライ

- 日時 平成 28 年 6 月 2 2 日（水曜日） 16 時 10 分より
- 場所 国際文化学部棟 C12 教室
- 主催 大学院国際文化化学研究科

### 平成 27 年度後期総合実習の報告

- **インソップ物語「北風と太陽」とソリューションフォーカス**  
－ 職場にプラスの変化をもたらす仕組み－  
国際文化化学研究科 2 年 松永朋子

北風と太陽は、どちらが旅人のコートを脱がすことができたでしょう？  
ご存知のように、正解は太陽ですね。強い北風を吹きつけるよりも、暖かく優しい太陽の光のほうが、旅人のコートを脱すことができました。人を動かすときにも、冷たく厳しい態度よりも、暖かく優しい言葉をかけたり態度を示すほうが有効です。

ということは分かっていますが、職場ではいかがでしょうか？人間関係がわずらわしい、会議や打ち合わせで発言が無い、活気が無い、と感じたことはありませんか？

ソリューションフォーカスの特徴は、人を元気にすることです。何をすれば人が元気になり、元気になると職場はどうなるのでしょうか。調査事例を通じて報告します。

- **8300 枚の棚田を再生する移住者、通い人と地元民**  
－ 岡山県美作市の NPO 法人英田上山棚田団の試み－  
国際文化化学研究科 2 年 原田章子

2007 年から始まった上山棚田再生活動は、2015 年までに 15 ヘクタール（約 1600 枚）を再生。なんとコアメンバーは“よそ者”出身のおもしろい人たちです。「楽しいことは正しいこと！」を理念に、棚田再生、環境保全や地元資源を生かした地域活性化に取り組んでいます。子どもからじいちゃん、ばあちゃん、そして活動する自分たちも、里山で楽しく、豊かな暮らしができることを「やったらいいやん！」という合言葉と共に活動中。活動以来ここ訪れた人は約 7000 人。「何でこんな田舎に人が集まってくるのだろう？」そんな疑問は、一緒に活動することで無くなりました。「私は生きている！」ここはそう思える場所です。大事なことは“縁脈”と“本気”です。

